タイトル		内容	
授業科目	ITキャリアデザイン I		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT3年制学科		
履修年次	1年次		
開講学期	前期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	就職活動に関する基礎知識について学る	•	
授業の進め方	テキストによる講義と演習		
達成目標	就職活動に関する基礎知識を習得する		
教科書	オリジナルテキスト		
実務家教員の紹介			
	1 就職ガイダンス	31	
	2 自己分析 I	32	
	3 自己分析Ⅱ	33	
	4 自己分析Ⅲ	34	
	5 就活マナー	35	
	6 筆記試験対策	36	
	7 WEB選考対策	37	
	8 インターンシップの基礎知識	38	
	9 業界研究 I	39	
	10 業界研究 II	40	
	11 職種研究 I	41	
	12 職種研究 II	42	
	13 自己PR作成	43	
	14 SPI対策	44	
授業計画	15 CAB対策	45	
	16	46	
	17	47	
	18	48	
	19 20	49	
	21	50	
	22	51 52	
	23	53	
	24	54	
	25	55	
	26	56	
	27	57	
	28	58	
	29	59	
	30	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物評価100% 授業内で取り組む提出課題で評価		
備考			

タイトル		内容	
	ITキャリアデザイン II		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT3年制学科		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	必修		
授業方法	演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	就職活動における適性試験や面接試験の	対策	
授業の進め方	テキストによる講義と演習		
達成目標	適性試験や面接試験に関する知識を習得] する	
教科書	オリジナルテキスト		
実務家教員の紹介	1 履歴書作成	31	
	2 業界研究、職種研究	32	
	3 志望動機作成	33	
	4 入退室方法の確認	34	
	5 面接試験における質問研究	35	
	6 エントリーシート作成	36	
	7 電子メールでの連絡方法	37	
	8 電話でのアポイントメント	38	
	9 就職活動における自己管理	39	
	10 就職活動システムの利用方法	40	
	11 SPI対策、CAB対策	41	
	12 面接トレーニング	42	
	13 面接トレーニング	43	
	14 面接トレーニング	44	
1~ VIV ~ 1 ~~	15 効果測定	45	
授業計画	16	46	
	17	47	
	18	48	
	19	49	
	20	50	
	21	51	
	22	52	
	23	53	
	24	54	
	25	55	
	26	56	
	27	57	
	28	58	
	29	59	
	30	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物評価100% 授業内で取り組む提出課題で評価		
備考			

タイトル		内容	
	一般教養Ⅰ		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT3年制学科	_	
履修年次	1年次		
開講学期	前期		-
科目区分	必修		-
授業方法	演習		
授業時間	30単位時間		
授業コマ数	15コマ		
授業概要	ビジネス全般において常用される漢字	、語句及び熟語等に関して学ぶ	
授業の進め方	問題演習による試験対策		
達成目標	漢字検定の合格		
教科書	検定協会発刊の対策問題集		
実務家教員の紹介	1 漢字 基礎演習	31	
	2 漢字 基礎演習	32	
	3 漢字 基礎演習	33	
	4 漢字 基礎演習	34	
	5 漢字 基礎演習	35	
	6 漢字 項目別問題演習	36	
	7 漢字 項目別問題演習	37	
	8 漢字 項目別問題演習	38	
	9 漢字 項目別問題演習	39	
	10 漢字 項目別問題演習	40	
	11 漢字 試験直前問題演習	41	
	12 漢字 試験直前問題演習	42	
	13 漢字 試験直前問題演習	43	
	14 漢字 試験直前問題演習	44	
授業計画	15 漢字 試験直前問題演習	45	
1XXII E	16	46	
	17	47	
	18	48	
	19	49	
	20	50	
	21	51	
	22	52	
	23	53	
	24	54	
	25	55	
	26	56	
	27	57	
	28	58	
	29	59	
最佳部加土斗	30	60	
成績評価方法(試験実施方法)	授業内試験100% 授業内でのチェックテストで評価		
備考			

タイトル		内容
授業科目	IT基礎知識 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	講義	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	IT基礎知識(テクノロジ分野・マネジメ	ント分野・ストラテジ分野) について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と演習	
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深め	<u>გ</u>
教科書	オリジナルテキスト	
ミ務家教員の紹介		
	1 ハードウェア I	31 セキュリティ、システム構成要素
	2 基礎理論 47.33	32 システム構成要素
	3 問題演習・解説	33 問題演習·解説
	4 基礎理論	34 システム構成要素 25 システムで、コ
	5 基礎理論	35 マルチメディア 26 BBB なかり 4754
	6 問題演習・解説	36 問題演習·解説
	7 ハードウェアⅡ	37 システム開発
	8 ハードウェア II	38 システム開発 20 BBBなど37 4754
	9 問題演習・解説	39 問題演習·解説
	10 ハードウェアⅡ	40 マネジメント
	11 ソフトウェア 12 問題なな切 47734	41 マネジメント 42 BBB はか33 6カラ4
	12 問題演習·解説	42 問題演習・解説 43 ストラテジ
	13 ソフトウェア 14 ソフトウェア	43 A ト フ ラ シ 44 スト ラ テ ジ
授業計画	15 問題演習・解説	45 問題演習・解説 46
	16 ソフトウェア、アルゴリズム 17 アルゴリズム	46 47
	17 7 ルコリスム 18 問題演習・解説	48
	10 _口 題演首・解説	48 49
	20 データベース	50
	21 問題演習·解説	51
	22 データベース	52
	23 データベース	53
	24 問題演習·解説	54
	25 ネットワーク	55
	26 ネットワーク	56
	20 ボットリーシ	57
	27 ID D	58
	29 セキュリティ	59
	29 セキュリティ 30 問題演習・解説	60
成績評価方法	50 四窓保日 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	00
(試験実施方法)	授業内試験100% 授業内でのチェック	テストで評価
備考		

タイトル		内容
	IT基礎知識 II	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT3年制学科	
	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要		ジメント分野・ストラテジ分野)について学ぶ
授業の進め方	問題演習による試験対策	<u> </u>
達成目標		そめ、基本情報技術者試験の修了試験に合格する
	オリジナルテキスト	(2)、至于旧形以的自即数9191 pm(2) 自由 7 3
実務家教員の紹介		
	1 過去問題演習 1	31 過去問題演習11
	2 過去問題演習 1	32 過去問題演習11
	3 過去問題演習 1 解説	33 過去問題演習11 解説
	4 過去問題演習 2	34 過去問題演習12
	5 過去問題演習 2	35 過去問題演習12
		36 過去問題演習12 解説 37 過去問題演習13
		<u> </u>
	8 過去問題演習 3	38 過去問題演習13
	9 過去問題演習 3 解説	39 過去問題演習13 解説
	10 過去問題演習 4	40 過去問題演習14
	11 過去問題演習 4	41 過去問題演習14
	12 過去問題演習 4 解説	過去問題演習14 解説
	13 過去問題演習 5	43 過去問題演習15
	14 過去問題演習 5	44 過去問題演習15
授業計画	15 過去問題演習 5 解説	45 過去問題演習15 解説
JAZICHI EI	16 過去問題演習 6	46
	17 過去問題演習 6	47
	18 過去問題演習 6 解説	48
	19 過去問題演習 7	49
	20 過去問題演習 7	50
	21 過去問題演習 7 解説	51
	22 過去問題演習 8	52
	23 過去問題演習 8	53
	24 過去問題演習 8 解説	54
	25 過去問題演習 9	55
	26 過去問題演習 9	56
	27 過去問題演習 9 解説	57
	28 過去問題演習10	58
	29 過去問題演習10	59
	30 過去問題演習10 解説	60
成績評価方法	授業内試験100% 授業内でのチェッ	
(試験実施方法)	汉朱门即杨八10070 汉朱门(5)	. , , = µ ; р.ч

タイトル		内容
授業科目	コンピュータリテラシー	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	30単位時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	Officeソフト (Word・Excel・PowerPoint)	の操作方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と実習	
達成目標	Word、Excel、PowerPointの基本的な操作方	法を習得する
教科書	情報利活用 基本演習	
実務家教員の紹介	1 コンピューターの基本操作	31
	2 一般的なビジネス文書の作成	32
	3 シンプルなレポートや報告書の作成	33
	4 表・画像・図形を使った文書の作成	34
	5 効果測定	35
	6 プレゼンテーションの企画	36
	7 わかりやすいストーリー構成	37
	8 センスアップするレイアウトデザイン	38
	9 イメージを伝えるイラスト・写真活用	39
	10 効果測定	40
	11 表作成の基本操作	41
	12 見やすく使いやすい表にする編集操作	42
	13 数式・関数を活用した集計表の作成	43
	14 グラフの基本	44
授業計画	15 効果測定	45
	16	46
	17	47
	18	48
	19	49
	20 21	50
	$\frac{21}{22}$	51 52
	23	53
	24	54
	25	55
	26	56
	27	57
	28	58
	29	59
	30	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

又来帆女(ン / 		内容
授業科目	Webシステム開発 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT3年制学科	
	1年次	
科目区分	必修	
	実習	
授業時間	60単位時間	
授業コマ数	30コマ	
	HTML & CSS、JavaScriptの基本構文について	学 >*
授業概要		ナか
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	m. t. 7
達成目標	JavaScriptとCSSを利用したWebページ作成が	
教科書	これからWebをはじめる人のHTML&CSS、J	
実務家教員の紹介		コグラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的
_	な指導・教育をおこなう。	
	1 開発環境の構築	31
	2 簡単なHTMLファイルの作成	32
	3 HTMLタグの種類と使い方	33
	4 CSSの使い方	34
	5 スタイル調整	35
	6 領域の分け方	36
	7 画像の取扱い方法	37
	8 リンクの設定	38
	9 スマートフォンデバイスへの対応方法	39
	10 親要素の指定を引き継ぐ	40
	11 CSSアニメーションの使い方	41
	12 CSSフレームワークの使用方法	42
	13 グリッドシステムとは	43
	14 フォームの作成	44
12 W = 1 T	15 送信ボタンの設置	45
授業計画	16 JavaScriptとは	46
	17 変数について	47
	18 日付の取扱い方	48
	19 要素を取得し編集する	49
	20 if構文	50
	21 イベント処理	51
	22 繰り返し処理	52
	23 Ajax通信とは	53
	24 ISONデータの使用方法	54
	25 配列	55
	26 for構文	56
	20 161 (株) 27 非同期通信とは	57
	28 jQueryとは	
		58 59
	29 Vue.jsとjQueryを組み合わせる	<u> </u>
最佳部加州社	30 効果測定	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

タイトル		内容
	Webシステム開発 II	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	1年次	
 科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	PHPの基本構文及びデータベース接続につい	て学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	PHPとデータベースを利用したWebアプリケ	ーション開発ができる
教科書	確かな力が身につくPHP「超」入門	
#7#### O 4T A	システムエンジニアとしての設計・開発・プ	ログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な
実務家教員の紹介	指導・教育をおこなう。	
	1 PHPとは	31 フォームの情報をテーブルに追加
	2 PHPスクリプトの動かし方	32 SQLスクリプトでデータベースを作成
	3 PHPと他の言語の違い	33 ログイン、ログアウト処理
	4 PHPツールの準備	34 入力情報の登録、更新
	5 開発環境の準備	35 ショッピングカート機能の作成
	6 PHPスクリプトの実行方法	36 セッションとは
	7 ブラウザにメッセージを表示する方法	37 お気に入り機能の作成
	8 文字化けについて	38 VirtualBoxで仮想環境を構築
	9 リクエストパラメータ	39 資産管理システムとは
	10 演算子と変数	40 bootstrapの使用方法
	11 if文	41 MySQLのインストール
	12 switch文	42 エラーメッセージの表示
	13 for文、while文	43 WordPressにおけるPHPの活用
	14 foreach文と配列	44 Web APIの使用
授業計画	15 foreach文と配列のキー	45 効果測定
722/887	16 foreach文とチェックボックス	46
	17 日時の取得	47
	18 画像のランダム表示	48
	19 入力データの形式チェック	49
	20 パスワードのチェック	50
	21 全角から半角への変換	51
	22 サーバへの保存	52
	23 ファイルのアップロード	53
	24 データベースとは	54
	25 データベースの作成	55
	26 データの取得	56
	27 データの検索	57
	28 データの追加 20 データの追加	58
	29 データの削除	59
出建亚年十十	30 データの更新	60
成績評価方法	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
(試験実施方法)		
備考		
	L	

授業科目			
	Python	Python	
実務家教員授業	0		
	情報IT3年制学科		
履修年次	1年次		
科目区分	必修		
	実習		
授業時間	90単位時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	Pythonの基本構文とプログラムの実装について学.	\$	
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習		
達成目標	Pythonを利用したCUIベースのプログラム実装が、	できる	
教科書	新・明解 Python入門		
+	SIer企業にてプログラマー、システムエンジニアと	こしての実務経験から、開発業務で活かせる実践的	
実務家教員の紹介	な教育をおこなう。		
	1 Pythonの特徴	31 クラス	
	2 画面への表示とキーボード入力	32 クラス	
	3 制御・条件分岐	33 クラス変数とクラスメソッド	
	4 制御・条件分岐	34 継承	
	5 制御・条件分岐	35 継承	
	6 プログラムの構成要素	36 例外処理	
	7 制御・繰り返し	37 例外処理	
	8 制御・繰り返し	38 ファイル処理の基礎	
	9 制御・繰り返し	39 ファイル処理の基礎	
	10 オブジェクトと型	40 バイナリファイル	
	11 オブジェクトと型	41 総合実習	
	12 文字列の基礎	42 総合実習	
	13 文字列の操作	43 総合実習	
	14 文字列の書式化	44 総合実習	
極米計画	15 効果測定	45 効果測定	
授業計画	16 リスト	46	
	17 リスト	47	
	18 リスト	48	
	19 リスト	49	
	20 タプル	50	
	21 辞書	51	
	22 集合	52	
	23 関数の基礎	53	
	24 関数の基礎	54	
	25 文書化文字列とアノテーション	55	
	26 名前空間とスコープ	56	
	27 高階関数とラムダ式	57	
	28 モジュール	58	
	29 パッケージ	59	
	30 効果測定	60	
成績評価方法	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
(試験実施方法)			
備考			
C mv			

仅未帆女(ンプ)		h索	
タイトル		内容	
授業科目	Pythonフレームワーク		
実務家教員授業			
学部・学科	情報IT3年制学科		
履修年次	1年次		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	90単位時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	Djangoを使用したサーバサイドアプリケーションの仕組みについて学ぶ		
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習		
達成目標	Djangoを使用したWebアプリケーション開発がて	ぎきる	
教科書	動かして学ぶ!Python Django開発入門		
実務家教員の紹介	SIer企業にてプログラマー、システムエンジニア	としての実務経験から、開発業務で活かせる実践的	
大切 对 内人员 与和1	な教育をおこなう。		
	1 Webアプリとは	31 モデルの作成	
	2 Djangoの概要、全体像	32 モデルの作成	
	3 Djangoプロジェクトの構造	33 Djangoアプリケーションにページを追加	
	4 ルーティング、ビューの概要	34 Djangoアプリケーションにページを追加	
	5 フォーム、モデル、テンプレートの概要	35 Djangoアプリケーションにページを追加	
	6 Webアプリ開発環境の構築	36 Djangoアプリケーションにページを追加	
	7 Webアプリ開発環境の構築	37 Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	8 単一ページのDjangoアプリケーションを作成	38 Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	9 単一ページのDjangoアプリケーションを作成	39 Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	10 単一ページのDjangoアプリケーションを作成	40 Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	11 単一ページのDjangoアプリケーションを作成	41 Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	12 バージョン管理システムの構築	42 Djangoアプリケーションとデータベースの連携	
	13 Bootstrapの適用	43 エラーページの作成	
	14 ベーステンプレートの作成	44 バックアップ処理の作成	
極光計画	15 フォーム画面の作成	45 効果測定	
授業計画	16 フォーム画面の作成	46	
	17 フォーム画面の作成	47	
	18 メール送信機能の作成	48	
	19 メール送信機能の作成	49	
	20 課題演習	50	
	21 課題演習	51	
	22 課題演習	52	
	23 課題演習	53	
	24 課題演習	54	
	25 認証用アプリケーションの作成	55	
	26 ユーザモデルの定義	56	
	27 Django認証機能の作成	57	
	28 Django認証機能の作成	58	
	29 Django認証機能のテンプレートの改変	59	
	30 Django認証機能のテンプレートの改変	60	
(試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		
備考			
L			

タイトル		内容
授業科目	Linux	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	1年次	_
開講学期	前期	_
—————————————————————————————————————	必修	
授業方法	実習	
授業時間	30単位時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	LinuxOSの概要と基本操作について	学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	LinuxOSの基本的な操作を習得する	
教科書	Linux標準教科書(Ver.3.0.3)	
	アプリケーション開発者として各種	[プログラミング言語での開発経験が豊富である。エンジニア
実務家教員の紹介	しての経験を活かした実習指導をお	3こなう。
	1 Linuxのインストール	31
	2 Linuxの概要	32
	3 基本的なコマンド	33
	4 基本的なコマンド	34
	5 正規表現とパイプ	35
	6 コマンド演習	36
	7 基本的なコマンド2	37
	8 基本的なコマンド2	38
	9 viエディタ	39
	10 エディタ演習	40
	11 管理者の仕事	41
	12 ユーザ権限とアクセス権	42
	13 アクセス権演習	43
	14 総合演習	44
[조개(크]	15 効果測定	45
授業計画	16	46
	17	47
	18	48
	19	49
	20	50
	21	51
	22	52
	23	53
	24	54
	25	55
	26	56
	27	57
	28	58
	29	59
	30	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

タイトル		内容
	クラウド技術 I	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60単位時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	クラウドの概要とAWSを利用したクラウドコ	1ンピューティングの実装方法について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	クラウド環境で高可用性を実現するWeb開発	環境の実装ができる
教科書	AWS Academyテキスト	
中数字数号の知人	ITエンジニアとして、上流から下流まで幅広	い作業工程の実務経験がある。その経験から、現場
実務家教員の紹介	で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこ	なう。
	1 クラウドのコンセプト	31
	2 料金の基本	32
	3 AWS グローバルインフラストラクチャ	33
	4 AWS のサービスとサービスカテゴリ	34
	5 AWS の責任共有モデル	35
	6 クラウドのセキュリティ - AWS IAM	36
	7 ネットワークの基本,Amazon VPC	37
	8 VPC ネットワーク	38
	9 VPC セキュリティ	39
	10 VPC設定実習	40
	11 Route 53、CloudFront	41
	12 コンピューティングサービスの概要	42
	13 Amazon EC2	43
	14 Amazon EC2実習	44
授業計画	15 Amazon EC2実習	45
汉未刊画	16 Amazon EC2 のコスト最適化	46
	17 コンテナサービス、AWS Lambda	47
	18 AWS EBS	48
	19 AWS S3	49
	20 AWS EFS、AWS S3 Glacier	50
	21 Amazon RDS	51
	22 Amazon DynamoDB,Amazon Redshift	52
	23 クラウドアーキテクチャの設計	53
	24 Elastic Load Balancing	54
	25 Amazon EC2 Auto Scaling	55
	26 Amazon EC2 Auto Scaling実習	56
	27 総合実習	57
	28 総合実習	58
	29 総合実習	59
B. C. Land	30 効果測定	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	
備考		

タイトル	P	内容	
授業科目	Java		
実務家教員授業	,		
学部・学科	情報IT3年制学科		
履修年次	1年次		
開講学期	後期		
科目区分	必修		
授業方法	実習		
授業時間	90単位時間		
授業コマ数	45コマ		
授業概要	Javaの基本構文とオブジェクト指向プログラミン	ケグについて学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	7	
達成目標	Javaを利用したオブジェクト指向のプログラミン	/ グ闘発ができる	
	新·明解 Java入門 第 2 版	7 http:// c.c.a	
1X11 E	ITエンジニアとして、上流から下流まで幅広い作	作業工程の実務経験がある。その経験から 現	
実務家教員の紹介	で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこなう		
	1 Javaの特徴・学習のための準備	31 文字と文字列	
	2 変数	32 例外処理	
	3 制御構文・分岐、if文	33 総合実習 基礎	
	4 制御構文・分岐、switch文 キーワード・識別子・演算子	34 総合実習 基本的なプログラムの構造	
	5 制御構文・繰り返し do-while文・while文	35 総合実習 コンピュータで扱うデータ表現	
		 	
	6 制御構文・繰り返し for文	36 総合実習 変数/定数と型	
	7 基本型と演算	37 総合実習 演算と演算子	
	8 配列	38 総合実習 配列の宣言・生成	
	9 配列	39 総合実習 制御文	
	10 コレクション	40 総合実習 クラスとオブジェクト	
	11 制御構文・配列の実習	41 総合実習 クラスの関係	
	3 効果測定	42 総合実習 クラスの継承	
	13 メソッド	43 総合実習 例外処理	
	14 メソッド	44 総合実習	
授業計画	15 クラスの基本	45 効果測定	
	16 クラスの基本	46	
	17 日付クラスの作成	47	
	18 日付クラスの作成	48	
	19 クラス変数とクラスメソッド	49	
	20 クラス変数とクラスメソッド	50	
	21 パッケージ	51	
	22 クラスの派生と多相性	52	
	23 クラスの派生と多相性	53	
	24 クラスの派生と多相性	54	
	25 抽象クラス	55	
	26 抽象クラス	56	
	27 インタフェース	57	
	28 インタフェース	58	
	29 クラス・抽象クラス・インタフェースの実習	59	
	30 効果測定	60	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評	価	

タイトル		内容
授業科目	Javaフレームワーク	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	JavaサーブレットとJSPを使用するサーバサイ	ドプログラミングについて学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	ショッピングサイトのWebアプリケーションを	を開発してクラウドにデプロイする
教科書	基礎からのサーブレット/JSP 新版	
###### P . W A	システムエンジニアとしての設計・開発・プロ	コグラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的
実務家教員の紹介	指導・教育をおこなう。	
	1 サーブレット/JSPとは	31 Webアプリケーションの公開
	2 開発環境の準備	32 WARファイルとは
	3 サーブレットのコンパイルと実行	33 デプロイ
	4 サーブレットの基本	34 開発演習
	5 サーブレットによるリクエストの処理	35 開発演習
	6 いろいろなリクエストパラメータ	36 開発演習
	7 JSPの基本	37 開発演習
	8 JSPによるリクエストの処理とエラーページ	38 開発演習
	9 いろいろな画面遷移	39 開発演習
	10 フィルタの作成	40 開発演習
	11 サーブレットの詳細	41 開発演習
	12 HTTPのリクエストとレスポンス	42 開発演習
	13 データベース	43 開発演習
	14 Javaとデータベースの連携	44 開発演習
極器計画	15 JavaBeansとDAO	45 効果測定
授業計画	16 スコープとリクエスト属性	46
	17 セッション	47
	18 クッキー	48
	19 外部データの読み込み	49
	20 アクションタグ	50
	21 EL	51
	22 JSTL	52
	23 MVCパターンとは	53
	24 FrontControllerパターン	54
	25 検索アクションと追加アクションの作成	55
	26 ログイン機能の仕組みと作成	56
	27 ログアウト処理	57
	28 ショッピングサイトの構築	58
	29 ショッピングサイトの構築	59
	30 ショッピングサイトの構築	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で	評価
備考		

投業科目	h / l a		山宏
安藤水教貞授業	タイトル		内容
存託 ・		テータベース	
関連学 日本 技術 技術 技術 技術 技術 技術 技術 技			
開議学期 後期 科目区分 必修 投業方法 失変 大変 大変 大変 大変 大変 大変 大変			
長葉 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大学 大	履修年次	1年次	
授業の語 50時間 200 で 200	開講学期		
授業中の数 30コマ 検索を定している 30コマ 検索を定している 20 技術を 20 大き 20 大き 20 20 20 20 20 20 20 2	科目区分	必修	
授業司マ数 30コマ 接来機要 SQLの基本文法とリレーショナルデータベースの設計と実装について学ぶ 授業の進め方 行識者の指導による講義と実習 選及目標 リレーショナルデータベースの設計とデータベースに対するSQLの実装ができる 教科書 スッキリわかる SQL人門 第3版 実務家教員の紹介 はじめてのSQL 3 SELECTンデータの検索 33 34 4 UPDATE メーデータの見解 35 6 DELETE メーデータの開解 35 6 DELETE メーデータの開解 36 7 INSERT メーデータの通知 37 38 報書問題 38 9 操作する行の絞り込み 39 10 操作する行の絞り込み 39 10 操作する行の絞り込み 40 11 練習問題 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT 亜複行の除外 43 14 ORDER BY 一創末の金や替え 44 UPDATE メーデータの通知 47 大と開放 47 大と開放 47 大と開放 47 大と開放 47 大と開放 47 18 株計とグループ化 48 19 到間い合わせ 49 20 副間い合わせ 49 20 副間い合わせ 49 20 副間い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザション 53 24 アーブルの作成 54 25 問題演習 55 日間演習 57 28 国際演習 57 28 国際演習 59 27 四冊演習 59 28 以来測定 60 以来測定 (失習課題)の得点で評価	授業方法	実習	
接業機要	授業時間	60時間	
接換の進め方	授業コマ数	30コマ	
達成目標 リレーショナルデータベースの設計とデータベースに対するSQLの実装ができる 教科書 スッキリわかる SQL入門 第 3 版 実務家教員の紹介 1 はじめてのSQL 31 基本大法と 4 人命令 32 32 3 SELECTメーデータの検案 33 4 UPDATE X ーデータの更新 34 核間問題 35 6 DELETE 文ーデータの削除 36 7 INSERT X ーデータの追加 37 線 間間題 38 操作する行の故り込み 39 9 操作する行の故り込み 40 排理問題 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT 一重被行の除外 43 44 ORDER BY 一結果の並べ替え 44 15 OFFSET FETCH 一先頭から数行だけの取得 46 技術問題 46 17 大と問題 47 集計・グループ化 48 19 調即・合わせ 49 20 開門・合わせ 50 21 複数テーブルの作成 52 23 トランザクション 53 24 デーブルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 55 27 問題演習 55 28 問題演習 55 29 問題演習 59	授業概要	SQLの基本文法とリレーショナルデータベース	の設計と実装について学ぶ
教科書 スッキリわかる SQL入門 第3版 実務家教員の紹介 1 はじめてのSQL 31 2 基本文法と4人命令 32 3 SELECT文ーデータの検索 33 4 UPDATE文ーデータの更新 34 5 練習問題 35 6 DELETE文ーデータの削除 36 7 INSERT文ーデータの追加 37 8 練習問題 38 9 操作する行の紋り込み 40 11 練習問題 41 12 検索計果の加工 42 13 DISTINCT - 重接行の除外 43 14 ORDER BY - 情景の並べ替え 44 15 OFFSET FETCH一先頭から数行だけの取得 45 16 練習問題 46 17 式と関数 47 18 集計とグループ化 48 19 副問い合わせ 50 20 脚間い合わせ 50 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 アーブルの仲成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 20 効果測定 方の 成結評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
実務家教員の紹介 1 はじめてのSQL 31 2 基本文法とも人命令 32 3 SELECT文ーデータの検索 33 4 UPDATE文ーデータの更新 34 5 練習問題 35 6 DELETEXーデータの削除 36 7 INSERTX ーデッタの追加 37 8 練習問題 38 9 操作する行の絞り込み 39 10 操作する行の絞り込み 40 11 練習問題 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT ー重被行の除外 43 14 ORDER BY 一競集の並べ替え 44 16 練習問題 45 16 練習問題 47 18 集計とグループ化 48 19 副問い合わせ 49 20 副問い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 52 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 アンルの作成 54 25 問題演習 55 16 問題演習 56 17 関題演習 56 18 開選演習 56 27 問題演習 55 28 問題演習 55 30 効果測定 59 30 効果測定 59	達成目標	リレーショナルデータベースの設計とデータベ	ースに対するSQLの実装ができる
1 はじめてのSQL 31 2 基本文法とも大命令 32 3 SELECT文ーデータの検索 34 4 UPDATE文ーデータの更新 34 6 DELFTE データの測除 36 7 INSERT メーデータの過知 37 8 練習問題 38 9 操作する行の絞り込み 40 11 練習問題 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT - 重接行の除外 43 14 ORDER BY - 結果の並べ替え 44 16 練習問題 46 17 式と開数 47 18 集計 とグループ化 48 19 期間い合わせ 49 20 副間い合わせ 49 20 副間い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 52 22 複数テーブルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 即越演習 57 28 即越演習 58 29 即越演習 59 30 効果測定 59 30 効果測定 59 30 効果測定 59	教科書	スッキリわかる SQL入門 第3版	
2 基本文法と4大命令 32 3 SELECT文ーデータの検索 33 4 UPDATE文ーデータの更新 34 6 DELETE文ーデータの開除 36 7 INSERT文ーデータの追加 37 8 練習問題 38 9 操作する行の絞り込み 40 10 操作する行の絞り込み 40 11 練習問題 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT一重複行の除外 43 40 ORDER BY —結果の並べ替え 44 16 練習問題 46 17 式と関数 47 18 集計上グループ化 48 19 期間い合わせ 49 20 刷間い合わせ 49 20 刷間い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザンション 53 24 テープルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 59 30 効果測定 60 #### APP APP APP APP APP APP APP APP APP	実務家教員の紹介		
2 基本文法と4大命令 32 3 SELECT文ーデータの検索 33 4 UPDATE文ーデータの更新 34 6 DELETE文ーデータの開除 36 7 INSERT文ーデータの追加 37 8 練習問題 38 9 操作する行の絞り込み 40 10 操作する行の絞り込み 40 11 練習問題 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT一重複行の除外 43 40 ORDER BY —結果の並べ替え 44 16 練習問題 46 17 式と関数 47 18 集計上グループ化 48 19 期間い合わせ 49 20 刷間い合わせ 49 20 刷間い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザンション 53 24 テープルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 59 30 効果測定 60 #### APP APP APP APP APP APP APP APP APP		1 はじめてのSOL	31
3 SELECT 文 - データの検索 33 33 4 UPDATE 文 - データの更新 34 核理問題 35 5 校報問題 36 7 INSERT 文 - データの創始 37 7 8 核理問題 38 9 操作する行の絞り込み 39 操作する行の絞り込み 40 操作型 3 30 30 30 30 30 30 30		├	
4		├	
5 練習問題 35 6 DELETE文ーデータの削除 36 7 INSERT文ーデータの削除 37 8 練習問題 38 9 操作する行の絞り込み 40 11 練習問題 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT一重複行の除外 43 14 ORDER BYー結果の並べ替え 44 15 OFFSET FETCH一先頭から数行だけの取得 45 16 練書計とグループ化 48 19 期間い合わせ 49 20 副間い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 オランザクション 53 24 アーブルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 56 29 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定(実習課題)の得点で評価			
6 DELETE文ーデータの削除 36 7 INSERT文ーデータの追加 37 8 練習問題 38 9 操作する行の絞り込み 39 10 操作する行の絞り込み 40 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT 重複行の除外 43 14 ORDER BY 一結果の並べ替え 44 15 OFFSET FETCH一先頭から数行だけの取得 46 17 式と関数 47 18 集計とグループ化 48 19 副間い合わせ 49 20 副間い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 テーブルの作成 54 15 15 15 15 15 15 15		├	<u> </u>
7 INSERT文ーデータの追加 37 8 練習問題 38 9 操作する行の絞り込み 39 10 操作する行の絞り込み 40 11 練習問題 41 投棄結果の加工 42 13 DISTINCT—重複行の除外 43 14 ORDER BY—結果の並べ替え 44 15 OFFSET FETCH—先頭から数行だけの取得 45 練習問題 46 17 式と関数 47 18 集計とグループ化 48 19 副間い合わせ 49 20 副間い合わせ 49 20 副間い合わせ 50 21 接数テーブルの結合 51 22 接数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 テーブルの作成 54 25 問題演習 55 16 18 18 18 18 18 18 18		├	
8 練習問題 38 9 操作する行の絞り込み 40 10 操作する行の絞り込み 40 11 練習問題 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT-重複行の除外 43 14 ORDER BY - 結果の並べ替え 44 15 OFFSET FETCH-先頭から数行だけの取得 45 16 練習問題 46 17 式と関数 47 18 集計とグループ化 48 19 副問い合わせ 49 20 副問い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 アーブルの作成 54 10 国題演習 56 26 問題演習 56 27 問題演習 56 29 問題演習 59 30 効果測定 59 30 効果測定 60		├	
9 操作する行の絞り込み 39 10 操作する行の絞り込み 40 11 練習問題 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT一重複行の除外 43 14 ORDER BY-結果の並べ替え 44 15 OFFSET FETCH-先頭から数行だけの取得 45 16 練習問題 46 17 式と関数 47 18 集計とブルーブ化 48 19 副問い合わせ 49 20 副問い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 テーブルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 56 27 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		├	
10 操作する行の絞り込み 40 41 検索結果の加工 42 13 DISTINCT一重複行の除外 43 44 45 45 45 46 47 48 47 48 49 49 49 49 49 49 49		├	
1 練習問題 41 12 検索結果の加工 42 13 DISTINCT 重複行の除外 43 14 ORDER BY = 結果の並べ替え 44 15 OFFSET FETCH = 先頭から数行だけの取得 45 46 17 式と関数 47 48 集計とグループ化 48 19 副問い合わせ 49 20 副問い合わせ 49 20 副問い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 テーブルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 数果測定 数果測定 数果測定(実習課題)の得点で評価		├	
12 検索結果の加工 42			
13 DISTINCT - 重複行の除外 43 44 44 15 OFFSET FETCH - 先頭から数行だけの取得 45 練習問題 46 17 式と関数 47 18 集計とグループ化 48 19 副間い合わせ 49 20 副間い合わせ 49 20 副間い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 テーブルの作成 54 25 問題演習 55 18 18 18 18 18 18 18		├	
14			
技業計画			<u> </u>
7 式と関数		 	<u>├</u>
17 式と関数	授業計画		
18 集計とグループ化 48 19 副問い合わせ 49 20 副問い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 テーブルの作成 54 25 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 60			
19 副問い合わせ 50		├	
20 副問い合わせ 50 21 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 テーブルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
21 複数テーブルの結合 51 22 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 テーブルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
22 複数テーブルの結合 52 23 トランザクション 53 24 テーブルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
23 トランザクション 53 24 テーブルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			<u> </u>
24 テーブルの作成 54 25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
25 問題演習 55 26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		23 トランザクション	
26 問題演習 56 27 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			<u> </u>
27 問題演習 57 28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			55
28 問題演習 58 29 問題演習 59 30 効果測定 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
29 問題演習 59 30 効果測定 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		27 問題演習	57
30 対果測定 60		28 問題演習	58
成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		29 問題演習	59
(試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		30 効果測定	60
備考		効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で言	平価
	備考		

タイトル		内容
授業科目	ITキャリアデザインⅢ	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
	演習	
授業時間	60単位時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	就職活動における適性試験や面接試験	金の対策
	テキストによる講義と演習	大の71水
	新望している企業からの内々定を獲 では、1000円である。	티 수 7
達成目標	オリジナルテキスト	4 6 0
教科書		
実務家教員の紹介		
	1 企業研究	31
	2 企業別志望動機作成	32
	3 面接試験における質問研究	33
	4 面接トレーニング	34
		35
	5 SPI対策	<u> </u>
	6 CAB対策	36
	7 企業研究	37
	8 企業別志望動機作成	38
	9 面接試験における質問研究	39
	10 面接トレーニング	40
	11 SPI対策	41
	12 CAB対策	42
	13 企業研究	43
	14 企業別志望動機作成	44
授業計画	15 面接試験における質問研究	45
1又未申四	16 面接トレーニング	46
	17 SPI対策	47
	18 CAB対策	48
	19 企業研究	49
	20 企業別志望動機作成	50
	21 面接試験における質問研究	51
	22 面接トレーニング	52
	23 SPI対策	53
	24 CAB対策	54
	25 企業研究	55
	26 企業別志望動機作成	56
	27 面接試験における質問研究	57
	28 SPI対策	58
	29 CAB対策	59
	30 効果測定	60
成績評価方法		
(試験実施方法)	提出物評価100% 授業内で取り組む	提出課題で評価
備考		

タイトル		内容
授業科目	Javaシステム開発	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	Javaフレームワークを利用したシステ	ム開発演習
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	Javaを使用したWebアプリケーション	開発ができる
教科書	なし	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
		発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践
実務家教員の紹介	指導・教育をおこなう。	
	1 仕様書の作成	31 プログラミング(開発)
	2 仕様書の作成	32 プログラミング(開発)
	3 仕様書の作成	33 プログラミング(開発)
	4 仕様書の作成	34 プログラミング(開発)
	5 仕様書の作成	35 プログラミング(開発)
	6 仕様書の作成	36 プログラミング(開発)
	7 仕様書の作成	37 プログラミング(開発)
	8 仕様書の作成	38 プログラミング(開発)
	9 仕様書の作成	39 プログラミング(開発)
	10 仕様書の作成	40 プログラミング(開発)
	11 仕様書の作成	41 プログラミング(開発)
	12 仕様書の作成	42 プログラミング(開発)
	13 仕様書の作成	43 プログラミング(開発)
	14 仕様書の作成	44 プログラミング(開発)
授業計画	15 仕様書の作成	45 プログラミング(開発)
汉未町画	16 プログラミング(開発)	46 テストの実施
	17 プログラミング(開発)	47 テストの実施
	18 プログラミング(開発)	48 テストの実施
	19 プログラミング(開発)	49 テストの実施
	20 プログラミング(開発)	50 テストの実施
	21 プログラミング(開発)	51 テストの実施
	22 プログラミング(開発)	52 テストの実施
	23 プログラミング(開発)	53 テストの実施
	24 プログラミング(開発)	54 テストの実施
	25 プログラミング(開発)	55 テストの実施
	26 プログラミング(開発)	56 テストの実施
	27 プログラミング(開発)	57 テストの実施
	28 プログラミング(開発)	58 テストの実施
	29 プログラミング(開発)	59 テストの実施
	30 プログラミング(開発)	60 効果測定
成績評価方法	30 ノロノノミマグ (州光)	00 別本側だ
(試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)。	D得点で評価
	İ	

タイトル		内容
授業科目	AIクラウドプログラミング	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	60単位時間	
授業コマ数	30 コマ	
授業概要	AWSのAIサービスを利用したプログラムの	D実装方法について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	7/X/1/A(-) () X-
	AWSの各種AIサービスを使用したプログラ	5 4 開発ができる
	AWSでつくるAIプログラミング入門	/ 公開先がてきる
		· ラミング言語での開発経験が豊富である。エンジニ
実務家教員の紹介	しての経験を活かした実習指導をおこなう	
	1 環境構築 2 Translate:テキスト翻訳	31 32
	3 Translate:テキスト翻訳	33
	4 Polly:音声合成	34
	5 Polly:音声合成	35
	6 翻訳、音声合成実習	36
	7 Transcribe:音声をテキストに変換	37
	8 Transcribe:音声をテキストに変換	38
	9 音声変換実習	39
	10 Rekognition:画像の分析	40
	11 Rekognition:画像の分析	41
	12 画像分析実習1	42
	13 Rekognition:画像の分析	43
	14 Rekognition:画像の分析	44
授業計画	15 画像分析実習2	45
及未町画	16 Textact:画像からテキストを抽出	46
	17 Textact:画像からテキストを抽出	47
	18 テキスト抽出実習	48
	19 Comprehend: 文章から話題や感情を抽出	49
	20 Comprehend: 文章から話題や感情を抽出	50
	21 Comprehend: 文章から話題や感情を抽出	51
	22 話題、感情抽出実習 1	52
	23 話題、感情抽出実習 2	53
	24 開発演習	54
	25 開発演習	55
	26 開発演習	56
	27 開発演習	57
	28 開発演習	58
	29 開発演習	59
	30 効果測定	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点	

タイトル		内容
授業科目	IoTプログラミング	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必須	
授業方法	実習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30 = 7	
授業概要	JavaScriptを学び、IoTシステムや動的	ななWobページを作成する
	有識者の指導による講義と実習	yaweb·、 フをIF/Xy S
	JavaScriptを使用したIoTシステムや動	h的たWab ページの佐母ぶっきフ
達成目標	-	ンド開発の初級から中級へ進むために
教科書	スケック)ックJavaScriptノロンドエ	ノト用用の初級がら中級へ進むために
実務家教員の紹介		
	1 1	21
	1 JavaScriptの基本操作	31 32
	2 JavaScriptの基本操作	<u> </u>
	3 JavaScriptの基本操作	33
	4 動くアプリケーションの作成	34
	5 動くアプリケーションの作成	35
	6 動くアプリケーションの作成	36
	7 ES6	37
	8 ES6	38
	9 ES6	39
	10 ES6	40
	11 JavaScriptの言語特性	41
	12 JavaScriptの言語特性	42
	13 Node.js & npm	43
	14 Node.js & npm	44
₩31.m	15 AJAX	45
授業計画	16 AJAX	46
	17 その他のJavaScriptの特性	47
	18 その他のJavaScriptの特性	48
	19 非同期処理	49
	20 非同期処理	50
	21 総合演習	51
	22 総合演習	52
	23 総合演習	53
	24 総合演習	54
	25 開発演習	55
	26 開発演習	56
	27 開発演習	57
	28 開発演習	58
	29 開発演習	59
	30 開発演習	60
成结亚属专注	30	00
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)	の得点で評価
備考		

タイトル		内容
授業科目	先端クラウドシステム開発 I	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	AIを活用したシステムに関して学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
	AIを活用したシステム開発ができる	
教科書	なし	
		基礎研究・開発業務に携わってきた経験を活かし、実践
実務家教員の紹介		医院明九・開光未物に誘わりてきた柱線を百かし、大原
	的なシステム開発の指導をおこなう。	31 AIを活用したシステム開発
	1 Python仮想環境(Flask)の特性	├
	2 Python仮想環境(Flask)の特性	32 AIを活用したシステム開発
	3 Python仮想環境(Flask)の特性	33 AIを活用したシステム開発
	4 Python仮想環境(Flask)の構築	34 AIを活用したシステム開発
	5 Python仮想環境(Flask)の構築	35 AIを活用したシステム開発
	6 Python仮想環境(Flask)の構築	36 AIを活用したシステム開発
	7 AIを活用したシステム開発	37 AIを活用したシステム開発
	8 AIを活用したシステム開発	38 AIを活用したシステム開発
	9 AIを活用したシステム開発	39 AIを活用したシステム開発
	10 AIを活用したシステム開発	40 AIを活用したシステム開発
	11 AIを活用したシステム開発	41 AIを活用したシステム開発
	12 AIを活用したシステム開発	42 AIを活用したシステム開発
	13 AIを活用したシステム開発	43 AIを活用したシステム開発
	14 AIを活用したシステム開発	44 AIを活用したシステム開発
授業計画	15 AIを活用したシステム開発	45 効果測定
1又未訂四	16 AIを活用したシステム開発	46
	17 AIを活用したシステム開発	47
	18 AIを活用したシステム開発	48
	19 AIを活用したシステム開発	49
	20 AIを活用したシステム開発	50
	21 AIを活用したシステム開発	51
	22 AIを活用したシステム開発	52
	23 AIを活用したシステム開発	53
	24 AIを活用したシステム開発	54
	25 AIを活用したシステム開発	55
	26 AIを活用したシステム開発	56
	27 AIを活用したシステム開発	57
	28 AIを活用したシステム開発	58
	29 AIを活用したシステム開発	59
	30 AIを活用したシステム開発	60
(試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得	点で評価
備考	İ	

タイトル		内容
授業科目	た端プログラミング言語	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
	Go言語の基本文法、ネットワークプログラミン	ノガ CIIIプログラミングにヘいて母と
授業概要		ク、GOIプログブミングについて手が
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	↑ ウルト バー よっ
達成目標	Go言語によるネイティブアプリ、Webアプリの	テ装かできる
教科書	やさしいGo言語入門	
実務家教員の紹介		究・開発業務に携わってきた経験を活かし、実
	的なシステム開発の指導をおこなう。	
	用発環境構築	31 ネットワーク: TCP
	2 Go言語の特徴紹介	32 ネットワーク: HTTP
	3 最初のプログラム	33 GUI
	4 名前と文 キーワード データ型	34 実習問題
	5 変数と定数 リテラル 演算子	35 さまざまなテクニック
	6 コンソール入出力:コンソール出力	36 Web電卓アプリの開発実習 (1)
	7 コンソール入出力:コンソール入力	37 Web電卓アプリの開発実習 (2)
	8 コンソール入出力:コマンドパラメータ	38 Web電卓アプリの開発実習 (3)
	9 実習問題	39 Web○×ゲームの開発実習(1)
	10 制御構造:条件分岐 無条件分岐	40 Web○×ゲームの開発実習 (2)
	11 制御構造:繰り返し	41 Web○×ゲームの開発実習(3)
	12 実習問題	42 Weチャットの開発実習(1)
	13 コンポジット型:配列 スライス	43 Weチャットの開発実習 (2)
	14 コンポジット型:マップ 構造体	44 Weチャットの開発実習 (3)
	15 関数: 関数 文字列処理関数	45 効果測定
授業計画	16 関数:関数の定義	46
	17 実習問題: 基本文法 マップ スライス 10 セスピリア アード	47
	18 実習問題: 配列	48
	19 実習問題: 関数 スライス	49
	20 効果測定	50
	21 メソッドとインターフェイス:メソッド	51
	22 メソッドとインターフェイス: インターフェイス	
	23 実習問題:メソッド インターフェイス	53
	24 並列実行:ゴルーチン	54
	25 並列実行:ゴルーチン間の通信	55
	26 並列実行:排他制御	56
	27 実習問題:並行処理	57
	28 ファイル入出力:ファイル入出力	58
	29 ファイル入出力:書式付きファイル入出力	59
	30 実習問題	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評	严価
(政際大池力石)		

タイトル	Ч	内容
授業科目	アジャイル開発	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
—————————————————————————————————————	必修	
授業方法	実習	
授業時間	30単位時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	アジャイル開発について学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェアライフサ	ナイクルに対応できる
教科書	アジャイル開発への道案内	
	システムエンジニアとしての設計・開発・プロク	ブラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な
実務家教員の紹介	指導・教育をおこなう。	
	1 アジャイル開発の現状と課題	31
	2 アジャイル開発の概要	32
	3 アジャイル開発の特徴	33
	4 アジャイル開発のプロセス	34
	5 アジャイル開発の効果とリスク	35
	6 上流工程を組み込んだ拡張アジャイル開発	36
	7 アジャイル開発の事例	37
	8 実習	38
	9 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	39
	10 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	40
	11 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	41
	12 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	42
	13 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	43
	14 事例を用いたアジャイルユースケース駆動設計	44
	15 効果測定	45
授業計画	16	46
	17	47
	18	48
	19	49
	20	50
	21	51
	22	52
	23	53
	24	54
	25	55
	26	56
	27	57
	28	58
	29	59
	30	60
成績評価方法	30	
(試験実施方法)	WANTE OF THE PROPERTY OF THE P	
備考		

タイトル		内容
授業科目	オブジェクト指向分析設計	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期・後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	ユースケース駆動設計によるオブジェ	クト指向分析設計について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	分析から設計・実装までのソフトウェ	アライフサイクルに対応できる
教科書	システムの分析と設計 図解とUMLに	こよるアプローチ
	システムエンジニアとしての設計・開	発・プログラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的:
実務家教員の紹介	指導・教育をおこなう。	
	1 各種ツールの準備と実習	31 総合実習
	2 システム分析の本質	32 総合実習
	3 図解技法の応用	33 総合実習
	4 実習	34 総合実習
	5 実習	35 総合実習
	6 システム分析・設計の手順	36 総合実習
	7 UMLの基本	37 総合実習
	8 UMLの基本	38 総合実習
	9 システム分析の事例実習	39 総合実習
	10 システム分析の事例実習	40 総合実習
	 11 システム分析の事例実習	41 総合実習
	12 システム分析の事例実習	42 総合実習
	13 システム分析の事例実習	43 総合実習
	14 システム分析の事例実習	44 総合実習
	15 効果測定	45 効果測定
授業計画	16 システム分析の事例実習	46
	17 システム分析の事例実習	47
	18 システム分析の事例実習	48
	19 UMLを用いたシステム設計の基礎	49
	20 システム設計の事例実習	50
	21 システム設計の事例実習	51
	22 システム設計の事例実習	52
	23 総合実習	53
	24 総合実習	54
	25 総合実習	55
	26 総合実習	56
	27 総合実習	57
	28 総合実習	58
	29 総合実習	59
	30 総合実習	60
成績評価方法		
(試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の	ノ侍只で評価
備考		

タイトル		内容
授業科目	開発総合実習 I	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	システム開発における企画立案、ユー	・スケース図及びロバストネス図の作成について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	企画立案をおこない、ユースケース図	
教科書	なし	
		エンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる第
実務家教員の紹介	的な教育をおこなう。	
	1 システム開発とは	31 ユースケースモデルレビュー
	2 企画立案の留意点	32 ユースケースモデルレビュー
	3 業界研究	33 ユースケースモデルレビュー
	4 業界研究	34 ロバストネス分析の理論
	5 業界研究	35 ロバストネス分析の実践
	6 業界研究	36 ロバストネス分析
	7 企画立案	37 ロバストネス分析
	8 企画立案	38 ロバストネス分析
	9 企画立案	39 ロバストネス分析
	10 企画立案	40 ロバストネス分析
	11 企画立案	41 ロバストネス分析
	12 企画立案	42 ロバストネス分析
	13 企画立案	43 ロバストネス図レビュー
	14 企画立案	44 ロバストネス図レビュー
	 	
授業計画	15 企画立案	数果測定 45
	16 企画書レビュー	46
	17 企画書レビュー 19 企画書 レビュー	47
	18 企画書レビュー	48
	19 ドメインモデリングの理論	49
	20 ドメインモデリングの実践	50
	21 ドメインモデリング分析 22 ユースケースモデリングの理論	51
		52
	23 ユースケースモデリングの実践	53
	24 ユースケースモデリング分析	54
	25 ユースケースモデリング分析	55
	26 ユースケースモデリング分析	56
	27 ユースケースモデリング分析	57
	28 ユースケースモデリング分析	58
	29 ユースケースモデリング分析	59
-1-4	30 ユースケースモデリング分析	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)。	の得点で評価
備考		

タイトル		内容
授業科目	開発総合実習II	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	システム開発におけるシーケンス図と	クラス図及びテーブル設計書や画面レイアウトについて学
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	シーケンス図とクラス図を作成し、テ	ーブル設計書や画面レイアウトを完成させる
教科書	なし	
実務家教員の紹介	SIer企業にてプログラマー、システム	エンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる実践
大切豕狄貝の柏川	的な教育をおこなう。	
	1 シーケンス図作成の理論	31 データベース設計の理論
	2 シーケンス図作成の実践	32 データベース設計の実践
	3 シーケンス図作成	33 テーブル設計書の作成
	4 シーケンス図作成	34 テーブル設計書の作成
	5 シーケンス図作成	35 テーブル設計書の作成
	6 シーケンス図作成	36 テーブル設計書の作成
	7 シーケンス図作成	37 画面レイアウト設計の理論
	8 シーケンス図作成	38 画面レイアウト設計の実践
	9 シーケンス図作成	39 画面レイアウトの作成
	10 シーケンス図作成	40 画面レイアウトの作成
	11 シーケンス図作成	41 画面レイアウトの作成
	12 シーケンス図作成	42 画面レイアウトの作成
	13 シーケンス図レビュー	43 画面レイアウトの作成
	14 シーケンス図レビュー	44 画面レイアウトの作成
授業計画	15 シーケンス図レビュー	45 効果測定
	16 クラス図作成の理論	46
	17 クラス図作成の実践	47
	18 クラス図作成	48
	19 クラス図作成	49
	20 クラス図作成 21 カラス図作成	50
	21 クラス図作成 22 クラス図作成	51 52
	22 クラス図作成	53
	23 クラス図作成	54
	24 クラス図作成 25 クラス図作成 1 1 1 1 1 1 1 1 1	55
	25 クラス図作成	56
	27 クラス図作成	57
	28 クラス図レビュー	58
	29 クラス図レビュー	59
	30 クラス図レビュー	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の	
備考		
NH,⊲		

タイトル		内容
授業科目	開発総合実習Ⅲ	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	システム開発におけるテスト仕様書の	作成及び実装について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	テスト仕様書の完成及びシステムのメ	イン機能を完成させる
教科書	なし	
		エンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる。
実務家教員の紹介	的な教育をおこなう。	
	1 テストの理論	31 テストの実施
	2 テスト仕様書の作成	32 テストの実施
	3 テスト仕様書の作成	33 テストの実施
	4 テスト仕様書の作成	34 テストの実施
	5 テスト仕様書の作成	35 テストの実施
	6 テスト仕様書の作成	36 テストの実施
	7 プログラミング(開発)	37 テストの実施
	8 プログラミング(開発)	38 テストの実施
	9 プログラミング(開発)	39 テストの実施
	10 プログラミング(開発)	40 テストの実施
		41 テストの実施
	11 プログラミング(開発)	
	12 プログラミング(開発)	, , , , , ,
	13 プログラミング(開発)	43 テストの実施
	14 プログラミング(開発)	44 テストの実施
授業計画	15 プログラミング(開発)	45 テストの実施
	16 プログラミング(開発)	46 プログラミング (改修)
	17 プログラミング(開発)	47 プログラミング (改修)
	18 プログラミング(開発)	48 プログラミング (改修)
	19 プログラミング(開発)	49 プログラミング (改修)
	20 プログラミング(開発)	50 プログラミング (改修)
	21 プログラミング(開発)	51 プログラミング (改修)
	22 プログラミング(開発)	52 プログラミング (改修)
	23 プログラミング(開発)	53 プログラミング(改修)
	24 プログラミング(開発)	54 プログラミング(改修)
	25 プログラミング(開発)	55 プログラミング(改修)
	26 プログラミング(開発)	56 プログラミング(改修)
	27 プログラミング(開発)	57 プログラミング(改修)
	28 プログラミング(開発)	58 プログラミング(改修)
	29 プログラミング(開発)	59 プログラミング(改修)
	30 プログラミング(開発)	60 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の	D得点で評価
	1	

タイトル		内容
授業科目	仮想化コンテナ技術	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	コンテナ技術、Dockerについて学ぶ	
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	コンテナの概要を理解し、自らコンテナを作成	できるようになる
教科書	完全入門 Docker & 仮想サーバー	
中郊中か 日の切り	システムエンジニアとしての設計・開発・プロ	グラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な
実務家教員の紹介	指導・教育をおこなう。	
	1 なぜ開発用サーバーが必要なのか?	31 Spring Bootコンテナを構築する
	2 コンテナとは一体何か?	32 グループ実習 (1)
	3 実習(1)	33 グループ実習 (2)
	4 Dockerを使うための環境を構築する	34 グループ実習 (3)
	5 Docker Desktopの基本的操作	35 グループ実習 (4)
	6 Dockerコマンドでコンテナを作成する	36 グループ実習 (5)
	7 Docker Composeで実際にコンテナを作成する	37 グループ実習 (6)
	8 Docker Composeファイルの書き方を理解する	38 グループ実習 (7)
	9 MariaDBコンテナを構築する	39 グループ実習 (8)
	10 WordPress+MariaDBコンテナを構築する	40 グループ実習(9)
	11 コンテナ内のデータを残す方法を理解する	41 グループ実習(10)
	12 Flaskコンテナを構築する	42 グループ実習(11)
	13 コンテナのネットワークを理解する	43 グループ実習(12)
	14 実習 (2)	44 作品発表
極恭計型	15 実習 (3)	45 第2回効果測定
授業計画	16 実習(4)	
	17 実習 (5)	
	18 実習 (6)	
	19 実習 (7)	
	20 第1回効果測定	
	21 Debianコンテナを構築する	
	22 Ubuntuコンテナを構築する	
	23 MariaDB+phpMyAdminコンテナを構築する	
	24 PostgresSQLコンテナを構築する	
	25 PostgresSQL+pgAdmin4コンテナを構築する	
	26 nginxコンテナを構築する	
	27 Djangoコンテナを構築する	
	28 Rubyコンテナを構築する	
	29 Ruby on Railsコンテナを構築する	
	30 PHP+Apache+MariaDBコンテナを構築する	
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評	·····································
備考		

タイトル		内容
授業科目	ITキャリアデザインIV	
実務家教員授業		
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	演習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	志望業界の時事について情報収集をおる	ない自身の考えをまとめる
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション	/
達成目標	時事に対する興味関心を持ち、自身の表	ぎえを相手に伝えることができる
教科書	オリジナルテキスト	
実務家教員の紹介		
	1 IT業界時事テーマの決定 1	31 企業研究
	2 情報収集	32 企業別志望動機作成
	3 情報収集	33 面接試験における質問研究
	4 ディスカッション	34 面接トレーニング
	5 ディスカッション	35 SPI対策
	6 まとめレポート作成	36 CAB対策
	7 SPI対策	37 企業研究
	8 SPI対策	38 企業別志望動機作成
	9 CAB対策	39 面接試験における質問研究
	10 CAB対策	40 面接トレーニング
	11 IT業界時事テーマの決定 2	41 SPI対策
	12 情報収集	42 CAB対策
	13 情報収集	43 企業研究
	14 ディスカッション	44 企業別志望動機作成
15 116 71 7	15 ディスカッション	45 面接試験における質問研究
授業計画	16 まとめレポート作成	46 面接トレーニング
	17 SPI対策	47 SPI対策
	18 SPI対策	48 CAB対策
	19 CAB対策	49 企業研究
	20 CAB対策	50 企業別志望動機作成
	21 IT業界時事テーマの決定 3	51 面接試験における質問研究
	22 情報収集	52 面接トレーニング
	23 情報収集	53 SPI対策
	24 ディスカッション	54 CAB対策
	25 ディスカッション	55 企業研究
	26 まとめレポート作成	56 企業別志望動機作成
	27 SPI対策	57 面接試験における質問研究
	28 SPI対策	58 SPI対策
	29 CAB対策	59 CAB対策
	30 CAB対策	60 効果測定
成績評価方法	20 CUDVIX	00 州本側尺
(試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(模擬面接)の	得点で評価
備考		

タイトル	,	内农	
タイトル	IT+, 11 P=15 1 VI	内容	
授業科目	ITキャリアデザインV		
実務家教員授業	 		
学部・学科	情報IT3年制学科		
履修年次	3年次		
開講学期	前期・後期		
科目区分	必修		
授業方法	演習 20単位時間		
授業時間 授業コマ数	30単位時間 15コマ		
•	社会人に必要なビジネスマナーについ	ケード	
授業概要 授業の進め方	テキストによる講義と演習	() () ()	
	ビジネスマナーについて理解し、状況		
達成目標	オリジナルテキスト	別の电品ル対かできる	
教科書	3 9 シラルテキスト		
実務家教員の紹介			
	1 学校と職場の違い	31	
	2 職場のマナー	32	
	3 仕事の進め方	33	
	4 「ほう・れん・そう」とは	34	
	5 挨拶の種類	35	
	6 笑顔・お辞儀	36	
	7 正しい敬語の使い方	37	
	8 応対の基本	38	
	9 電話応対のマナー	39	
	10 電話の受け方	40	
	11 電話のかけ方	41	
	12 状況別の電話応対	42	
	13 状況別の電話応対	43	
	14 総合演習	44	
極學計画	15 効果測定	45	
授業計画	16	46	
	17	47	
	18	48	
	19	49	
	20	50	
	21	51	
	22	52	
	23	53	
	24	54	
	25	55	
	26	56	
	27	57	
	28	58	
	29	59	
	30	60	
成績評価方法	効果測定100% 効果測定(電話応対)。	の得点で評価	
(試験実施方法)	-		
備考			

投業料日	タイトル	大]容
(交際・高年報			
(京都) 学科 協能	·		
順語学問 前即 村目に分 を修 授業方法 実習 授業制団 90単位時間 授業コマ数 45コマ 授業被要 45コマ 授業での進め方 4歳者を指導による講義と実習 連定目標 AWS SLOKを使用し、安全でスケーラブルをクラウドアブリケーションを開発する 有識者の指導による講義と実習 連定目標 AWS SLOKを使用し、安全でスケーラブルをクラウドアブリケーションを開発する 教科書 AWS Academyテキスト 「Tエンジニアとして、上流から下流まで幅広い作業工程の実務経験がある。その経験から、現場 で即機力となる為の職業実践的な教育をおこなう。 1 Academy Cloud Developing へようこそ 2 AWS での開発の紹介(1) 32 Amazon API Gateway を使用して開発する(3) 33 Amazon API Gateway を使用して開発する(4) 4 AWS での開発の紹介(2) 33 Amazon API Gateway を使用して開発する(6) 5 AWS IAM の紹介(2) 35 AWS Step Functions を使用して開発する(3) 36 AWS Step Functions を使用して開発する(1) 37 AWS Step Functions を使用して開発する(2) 7 Amazon S3 を使用して開発する(3) 38 AWS で変を全アプリケーションを開発する(2) 7 Amazon S3 を使用して開発する(3) 39 AWS で変を全アプリケーションを開発する(2) 40 Amazon S3 を使用して開発する(3) 4 AWS でクランションをデアロイする(1) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(4) 4 AWS でグランションをデアロイする(2) 4 会演習 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(4) 4 会演習 4 会演習 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(4) 4 会演習 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 4 会演習 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(5) 5 Amazon DynamoDB を使用して開発する(6) 5 Amazon DynamoDB を用して開発する(6) 5 Amazon DynamoDB を用して用を対して用を用して用を対して用を対して用して用を対して用して用を用して用して用を対して用して用して用を対して用して用を対して用して用して用を			
利目区分			
検索方法 大智			
授業の語 99単位時間 1			
授業中間 20年位時間 投業コマ数 45コマ 45コマ 45コマ 45コマ 42素の運動方 有識者の指導による調義と実育 本WS を使用し、安全でスケーラブルなクラウドアブリケーションを開発する 本WS SDKを使用し、安全でスケーラブルなクラウドアブリケーションを開発する 本WS ACademyテキスト に関係する (3)			
投業の連め方			
接来機要 AWSでのアプリケーション開発の基礎を学習する 接達の進め方 有識者の指導による講義と実習 変料者 AWS Academyテキスト (Tエンジニアとして、上流から下流まで幅広い作業工程の実務経験がある。その経験から、現場 で即載力となる為の職業実践的な数質をおこなう。 (1 Academy Cloud Developing へようこそ 2 AWSでの開発の紹介(1) 3 AWSでの開発の紹介(2) 4 AWSでの開発の紹介(2) 5 AWS 1AM の紹介(1) 6 AWS IAM の紹介(1) 6 AWS IAM の紹介(2) 7 Amazon S3 を使用して開発する(1) 8 Amazon API Gateway を使用して開発する(3) 4 AWSでの開発の紹介(2) 7 Amazon S3 を使用して開発する(1) 8 Amazon S3 を使用して開発する(1) 9 Amazon S3 を使用して開発する(3) 9 Amazon S3 を使用して開発する(4) 11 Amazon DynamoDBを使用して開発する(3) 4 Awsでかる変数を使用して開発する(4) 11 Amazon DynamoDBを使用して開発する(4) 12 Amazon S3 を使用して開発する(4) 14 Amazon DynamoDBを使用して開発する(3) 4 Amazon DynamoDBを使用して開発する(4) 15 Amazon DynamoDBを使用して開発する(4) 44 Amazon DynamoDBを使用して開発する(4) 45 Amazon DynamoDBを使用して開発する(5) 16 Amazon DynamoDBを使用して開発する(4) 44 総合流習 47 Amazon DynamoDBを使用して開発する(4) 48 総合流習 48 総治流習 49 Amazon S3 を使用して開発する(4) 40 AWSでアプリケーションをデブロイする(1) 41 Awsでアプリケーションをデブロイする(1) 42 総合流習 44 総合流習 45 Amazon S3 を使用して開発する(4) 48 総合流習 49 Amazon S4 を使用して開発する(3) 50 AWS でメをカアプリケーションをデブロイする(1) 41 Amazon CloudFront・Amazon ElastiCache(1) 42 総合流習 43 般治流習 44 総合流習 45 Amazon S4 をデブロイがる(5) 45 Aws は Amazon S4 を使用して開発する(1) 48 とデアプリケーションをデブロイする(1) 48 とデアプリケーションをデブロイする(1) 49 と表流習 40 AWSでアプリケーションをデブロイする(1) 41 Awsでアプリケーションをデブロイする(1) 42 総合流習 44 総合流習 45 Amazon S4 とをデブロイする(5) 45 Amazon API Catewayを使用して開発する(3) 50 AWS Lambda を使用して開発する(4) 51 Aws Lambda を使用して開発する(5) 52 AWS Lambda を使用して開発する(5) 53 AWS Lambda を使用して開発する(5) 54 AWS Lambda を使用して開発する(5) 55 AWS Lambda を使用して開発する(5) 56 AWS Lambda を使用して開発する(5) 57 AWS Lambda を使用して開発する(5) 58 AWS Lambda を使用して開発する(5) 59 Amazon API Catewayを使用して開発する(5) 50 AWS AMB を使用して開発する(5) 50 AWS AMB を使用して開発する(5) 51 AWS AMB AMB AMB AMB AMB AMB AMB AMB AMB AMB	·		
接換の進め方			
達成目標 AWS SDKを使用し、安全でスケーラブルなクラウドアブリケーションを開発する AWS Academyテキスト			,
表対の			ウドアプリケーションを問発する
下エンジニアとして、上流から下流まで幅広い作業工程の実務経験がある。その経験から、現場で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこなう。			グドアンダブ・ションを開光する
で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこなう。 1 Academy Cloud Developing へようこそ 31 Amazon API Gateway を使用して開発する(3) 34 Amazon API Gateway を使用して開発する(3) 4 AWS での開発の紹介(2) 35 AWS での開発の紹介(3) 34 Amazon API Gateway を使用して開発する(6) 5 AWS IAM の紹介(1) 35 AWS IAM の紹介(1) 35 AWS IAM の紹介(2) 36 Awazon S3 を使用して開発する(1) 37 Amazon S3 を使用して開発する(1) 4WS Step Functionsを使用して開発する(2) 37 Amazon S3 を使用して開発する(3) 38 Awazon S3 を使用して開発する(3) 39 Amazon S3 を使用して開発する(3) 39 Amazon S3 を使用して開発する(4) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 36 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 40 Aws Step Functionsを使用して開発する(2) 42 総合演習 3 Amazon DynamoDB を使用して開発する(4) 44 Aws Step Functionsを使用と対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係を対して関係が対して関係を対して関係が対して関係が対して関係が対して関係を対して関係が対しでは関係が対して関係が対して関係が対して関係が対して関係が対して関係が対して関係が対して関係が対して関係が対して関係が対して関係が対して関係が対して関係が対して対し		-	三
1 Academy Cloud Developing へようこそ 2 AWS での開発の紹介(1) 32 Amazon API Gateway を使用して開発する(4)	実務家教員の紹介		
2 AWS での開発の紹介(1) 32 Amazon API Gateway を使用して開発する(4) 3 Amazon API Gateway を使用して開発する(5) 4 AWS での開発の紹介(2) 3 Amazon API Gateway を使用して開発する(5) 3 AWS Step Functionsを使用して開発する(6) 3 AWS Step Functionsを使用して開発する(6) 3 AWS Step Functionsを使用して開発する(2) 3 AWS Step Functionsを使用して開発する(2) 3 AWS Step Functionsを使用して開発する(3) 3 AWS Step Functionsを使用して開発する(2) 3 AWS Step Functionsを使用して開発する(3) 3 AWS で安全なアプリケーションを開発する(1) 4 Amazon S3 を使用して開発する(1) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(1) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(1) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(4) 4 AwS でアプリケーションをデプロイする(2) 2 総合演習 2 総合演習 2 を合演習 2 を合う変割 2 を使用して開発する(1) 2 を合う変割 2 を使用して開発する(1) 2 をのするでは関発する(1) 2 を合う変割 2 を使用して開発する(1) 2 をのするでは関発する(1) 2 をのするでは関発する(1) 2 を使用して開発する(4) 2 を使用して開発する(4) 2 をのするでは関発する(4) 2 を使用して開発する(4) 2 をのするでは関発する(4) 2 をのするでは関発する(4) 2 をのするでは関係する(4)			
3 AWS での開発の紹介(2) 33 Amazon API Gateway を使用して開発する(5)			<u> </u>
4 AWS での開発の紹介(3) 34 Amazon API Gateway を使用して開発する(6)			
AWS IAM の紹介 (1) 35		1107 2 11171	
6 AWS IAM の紹介(2) 36 AWS Step Functionsを使用して開発する(2) 37 Amazon S3 を使用して開発する(3) 38 AWS で安全なアブリケーションを開発する(1) 37 AWS で安全なアブリケーションを開発する(1) 40 AWS で安全なアブリケーションを開発する(2) 40 AWS で安全なアブリケーションを開発する(2) 41 AWS でアプリケーションを開発する(2) 42 AWS でアプリケーションをデブロイする(1) 42 Amazon DynamoDBを使用して開発する(2) 42 を合演習 43 Amazon DynamoDBを使用して開発する(3) 43 Amazon DynamoDBを使用して開発する(3) 43 Amazon DynamoDBを使用して開発する(3) 43 Amazon DynamoDBを使用して開発する(4) 44 Amazon DynamoDBを使用して開発する(5) 45 Amazon CloudFront・Amazon ElastiCache (1) 46 Amazon CloudFront・Amazon ElastiCache (2) 47 Amazon Sys と Amazon Sys を使用して開発する(1) 48 Amazon Sys と Amazon Sys を使用して開発する(1) 51 Amazon Sys と Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys を Amazon Sys と Amazon Sys を Amazon API Gateway を 使用して開発する(1) 59 Amazon API Gateway を 使用して開発する(2) 50 Amazon API Gateway を 使用して開発する(3) 50 Amazo		├	· ·
7 Amazon S3 を使用して開発する(1) 37 AWS Step Functionsを使用して開発する(3) 38 AWS で安全なアブリケーションを開発する(1) 9 Amazon S3 を使用して開発する(3) 38 AWS で安全なアブリケーションを開発する(2) 40 AWS で安全なアブリケーションを開発する(2) 40 AWS でアブリケーションを開発する(2) 41 Amazon DynamoDB を使用して開発する(2) 42 松合済習 42 松合済習 42 松合済習 42 松合済習 43 Amazon DynamoDB を使用して開発する(3) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(3) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(3) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(3) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(3) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(3) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(3) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(3) 4 Amazon DynamoDB を使用して開発する(3) 4 Amazon CloudFront・Amazon ElastiCache(1) 46 Amazon CloudFront・Amazon ElastiCache(2) 47 48 48 49 49 49 49 49 49			
8			
9			
10 Amazon S3 を使用して開発する(4)			
11			
12		├	` '
13			
投業計画		· ·	
技業計画		·	
Restriction			
17 Amazon CloudFront · Amazon ElastiCache (2) 47	授業計画		
18 コンテナの紹介 (1) 48 49 20 コンテナの紹介 (2) 50 21 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する (1) 51 22 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する (2) 52 23 AWS Lambda を使用して開発する (1) 53 24 AWS Lambda を使用して開発する (2) 54 25 AWS Lambda を使用して開発する (3) 55 26 AWS Lambda を使用して開発する (4) 56 27 AWS Lambda を使用して開発する (5) 57 28 AWS Lambda を使用して開発する (6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する (1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する (2) 60			
19 コンテナの紹介(2) 49 20 コンテナの紹介(3) 50 21 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する(1) 51 22 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する(2) 52 23 AWS Lambda を使用して開発する(1) 53 24 AWS Lambda を使用して開発する(2) 54 25 AWS Lambda を使用して開発する(3) 55 26 AWS Lambda を使用して開発する(4) 56 27 AWS Lambda を使用して開発する(4) 56 27 AWS Lambda を使用して開発する(5) 57 28 AWS Lambda を使用して開発する(6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する(1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する(2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定(実習課題)の得点で評価			
20 コンテナの紹介 (3) 50 21 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する (1) 51 22 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する (2) 52 23 AWS Lambda を使用して開発する (1) 53 24 AWS Lambda を使用して開発する (2) 54 25 AWS Lambda を使用して開発する (3) 55 26 AWS Lambda を使用して開発する (4) 56 27 AWS Lambda を使用して開発する (5) 57 28 AWS Lambda を使用して開発する (6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する (1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する (2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定(実習課題)の得点で評価			
21 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する(1) 51 22 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する(2) 52 23 AWS Lambda を使用して開発する(2) 54 24 AWS Lambda を使用して開発する(2) 54 25 AWS Lambda を使用して開発する(3) 55 26 AWS Lambda を使用して開発する(4) 56 27 AWS Lambda を使用して開発する(5) 57 28 AWS Lambda を使用して開発する(6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する(1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する(2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
22 Amazon SQS と Amazon SNSを使用して開発する(2) 52 23 AWS Lambda を使用して開発する(1) 53 24 AWS Lambda を使用して開発する(2) 54 25 AWS Lambda を使用して開発する(3) 55 26 AWS Lambda を使用して開発する(4) 56 27 AWS Lambda を使用して開発する(5) 57 28 AWS Lambda を使用して開発する(6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する(1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する(2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定(実習課題)の得点で評価			
23 AWS Lambda を使用して開発する(1) 53 24 AWS Lambda を使用して開発する(2) 54 25 AWS Lambda を使用して開発する(3) 55 26 AWS Lambda を使用して開発する(4) 56 27 AWS Lambda を使用して開発する(5) 57 28 AWS Lambda を使用して開発する(6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する(1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する(2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価		<u> </u>	
24 AWS Lambda を使用して開発する(2) 54 25 AWS Lambda を使用して開発する(3) 55 26 AWS Lambda を使用して開発する(4) 56 27 AWS Lambda を使用して開発する(5) 57 28 AWS Lambda を使用して開発する(6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する(1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する(2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
25 AWS Lambda を使用して開発する(3) 55 26 AWS Lambda を使用して開発する(4) 56 27 AWS Lambda を使用して開発する(5) 57 28 AWS Lambda を使用して開発する(6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する(1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する(2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
26 AWS Lambda を使用して開発する(4) 56 27 AWS Lambda を使用して開発する(5) 57 28 AWS Lambda を使用して開発する(6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する(1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する(2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
27 AWS Lambda を使用して開発する(5) 57 28 AWS Lambda を使用して開発する(6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する(1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する(2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
28 AWS Lambda を使用して開発する(6) 58 29 Amazon API Gateway を使用して開発する(1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する(2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
29 Amazon API Gateway を使用して開発する (1) 59 30 Amazon API Gateway を使用して開発する (2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
30 Amazon API Gateway を使用して開発する (2) 60 成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
成績評価方法 (試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価			
(試験実施方法) 効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	成績並価方法	JO Alliazon Ar i Galeway を使用して開発する (2)	00
備考		効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	<u> </u>
	備考		

タイトル	内	 容
	サーバレスコンピューティング	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	3年次	
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	サーバレスコンピューティングに関する基礎を学	:
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	サーバレスサービスを利用したシステム開発を習	得する
教科書	AWS Lambda実践ガイド 第2版	
	ITエンジニアとして、上流から下流まで幅広い作	業工程の実務経験がある。その経験から、現場
実務家教員の紹介	 で即戦力となる為の職業実践的な教育をおこなう	0
	1 Lambda で実現するサーバレスシステム	31 デプロイとイベントソースの設定
	2 管理の手間を軽減しコスト削減を実現する Lambda	32 別のバケットにファイルを書き出す
	3 イベントドリブンの糊付けプログラミング	33 外部のライブラリを利用する
	4 Lambda 事始め	34 SAM を使って Lambda 関数のトリガーを設定する
	5 Lambda を使う上で理解したいこと	35 API Gateway、DynamoDB、SES との連携
	6 本章で作るシンプルな Lambda 関数	36 API Gateway イベントの事例
	7 Lambda 関数の構造と設計	37 API Gateway と Lambda 関数を組み合わせる
	8 Lambda の利用に必要なアクセス権	38 API Gateway と Lambda 関数を作る
	9 Lambda 関数の作成・登録	39 API Gateway を呼び出す HTML フォームを作って S3 に配置する
	10 Lambda 関数のテスト	40 DynamoDB の基本
	11 Lambda の実行環境とイベント	41 Lambda 関数で DynamoDB にアクセスする
	12 Lambda 関数の実行環境とランタイム	42 署名付き URL を発行する
	13 Lambda ランタイム環境の再利用	43 メールの送信
	14 同時実行とプロビジョニング	44 カスタムドメインの導入
極紫計型	15 イベントモデル	45 SAM を使った開発
授業計画	16 Lambda 関数を呼び出すイベントソース	46 SQS やSNS を使った連携
	17 定期的に Lambda 関数を実行する例	47 SQS と SNS トピックのイベント事例
	18 バージョニングとエイリアス	48 DynamoDB テーブルによるメールアドレス管理
	19 Lambda のネットワーク	49 S3 バケットと SQS を構成する
	20 Lambda の開発環境と SAM	50 SQS からメッセージを取り出してメールを送信する
	21 Lambda 開発の流れ	51 バウンスメールを処理する
	22 Serverless Application Model	52 SAM で構成する
	23 Cloud9 を使った Lambda 開発	53 X-Ray を使った分析
	24 Cloud9 を使った SAM 開発の実例	54 総合演習
	25 ローカル環境における Lambda 関数の呼び出し	55 総合演習
	26 S3 のイベント処理	56 総合演習
	27 83 イベントの事例	57 総合演習
	28 S3 バケットの作成とアクセス権の設定	58 総合演習
	29 SAM プロジェクトを作る	59 総合演習
	30 83 バケットに対するイベント	60 効果測定
成績評価方法	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	#
(試験実施方法)		щ
備考		

タイトル	内	宏
	モバイルアプリケーション開発	T .
授業科目	○	
実務家教員授業 学部・学科	情報IT3年制学科	
	3年次	
履修年次		
開講学期	前期	
科目区分	必修	
授業方法	実習 120単位時間	
授業時間		
授業コマ数	60コマ Flutterを利用してハイブリッドモバイルアプリ開	ダナヤナモ
授業概要		光をおこなり
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習 Dartの基本文法を習得し、Flutterを利用したハイ	ゴルードインノッマデルナ目がよっ
達成目標		ノリットセハイルテノリを開発する
教科書	基礎から学ぶFlutter システムエンジニアとしての設計・開発・プログ	ラミルがの奴較も活ふし、 大利口に対し 字眺める
実務家教員の紹介		ノミングの 辞釈を 石かし、 本件目に 対し 天政的な
	指導・教育をおこなう。 1 Flutterの特徴と開発環境構築	31 効果測定
	2 Flutterプロジェックと作成方法 3 画面遷移	32 Material Components (1)
		Material Components (2)
	4 画面遷移実習	34 Material Components実習(1)
	5 Dart基本文法(1)	35 Material Components実習(1)
	6 Dart基本文法実習 (1)	Material Theming
	7 Dart基本文法 (2)	37 Material Theming実習
	8 Dart基本文法実習(2)	38 Cupertino
	9 Dart基本文法実習 (3)	39 Cupertino実習
	10 Dartの特徴 (1)	40 便利なパッケージ
	11 Dartの特徴 (2)	41 プラットフォームアクセスとPluginパッケージ
	12 Dartの特徴の実習	42 パッケージ実習
	13 その他の重要な機能	43 ライフサイクル
	14 基本的なウィジェット	44 ライフサイクル実習 45 トートア 10
授業計画	15 基本的なウィジェットの実習	45 key & Built Context
	16 Single-child layout widgets (1)	46 keyとBuiltContext実習
	17 Single-child layout widgets (2)	47 サンブルアブリの概要、setState () メソッドだけを使ったサンブル
	18 Single-child layout widgets実習(1)	48 setSate()メソッドだけを使ったサンプル実習
	19 Single-child layout widgets実習 (2) 20 Multi-child layout widgets (1)	49 InheritedWidgetウィジェットを使ったサンプル 50 StreamBuilderウィジェットを使ったサンプル
	Multi-child layout widgets (2)	51 BLoCパターンのサンプル
	22 Multi-child layout widgets実習(1)	52 BLoCパターン+InheritedWidgetウィジェットのサンブル
	23 Multi-child layout widgets実習(2)	53 BLoCパターン+providerプラグインのサンプル
	Painting and effects	54 scoped_modelプラグインのサンプル
	25 Painting and effects実習	55 標準機能だけのScopedModelのサンプル
	26 Scrolling	56 providerプラグ人によるScopedModelのサンプル
	27 Scrolling実習	57 Reduxパターンのサンプル (1)
	28 Input、Interaction model widgets、Async、その他	58 総合演習(1)
	29 Input、Interaction model widgets、Async、その他実習	59 総合演習(2)
改建亚压于 注	30 アニメーション系ウィジェット、コントロールクラス	60 効果測定
成績評価方法	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で評価	fi .
(試験実施方法)		
備考		

タイトル		内容
授業科目	先端クラウドシステム開発 II	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	120単位時間	
授業コマ数	60コマ	
授業概要	Firebaseの基本機能を理解してサーバレスアプ	リケーションの構築方法を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標	Firebaseを利用したサーバレスアプリケーショ	ンを開発する
教科書	サーバーレス開発プラットフォーム Firebase入	門
##### P . W A	システムエンジニアとしての設計・開発・プロ	グラミングの経験を活かし、本科目に対し実践的な
実務家教員の紹介	指導・教育をおこなう。	
	1 Firebaseコンソール	31 Hostingの利用(2)
	2 プロジェクトでのFirebaseの利用	32 Cloud Functionsの利用(1)
	3 Authenticationの設定	33 Cloud Functionsの利用(2)
	4 WebアプリでのAuthenticationの利用(1)	34 Cloud Functionsを外部から利用する(1)
	5 WebアプリでのAuthenticationの利用(2)	35 Cloud Functionsを外部から利用する(2)
	6 AndroidにおけるAuthnticationの利用(1)	36 総合演習
	7 AndroidにおけるAuthnticationの利用(2)	37 総合演習
	8 iOSにおけるAuthenticationの利用	38 総合演習
	9 Realtime Databaseの設定(1)	39 総合演習
	10 Realtime Databaseの設定(2)	40 総合演習
	11 WebからのRealtime Databaseの利用(1)	41 総合演習
	12 WebからのRealtime Databaseの利用(2)	42 総合演習
	13 AndroidでのRealtime Database利用(1)	43 総合演習
	14 AndroidでのRealtime Database利用(2)	44 総合演習
授業計画	15 iOSにおけるRealtime Databaseの利用	45 総合演習
[八 木田 回	16 Cloud Firestoreの設定(1)	46 総合演習
	17 Cloud Firestoreの設定(2)	47 総合演習
	18 WebからのCloud Firestoreの利用(1)	48 総合演習
	19 WebからのCloud Firestoreの利用(2)	49 総合演習
	20 Cloud FirestoreのAndroidによる利用(1)	50 総合演習
	21 Cloud FirestoreのAndroidによる利用(2)	51 総合演習
	22 Cloud FirestoreのiOSによる利用	52 総合演習
	23 Storageの設定(1)	53 総合演習
	24 Storageの設定(2)	54 総合演習
	25 StorageのWebからの利用(1)	55 総合演習
	26 StorageのWebからの利用(2)	56 総合演習
	27 StorageのAndroidによる利用(1)	57 総合演習
	28 StorageのAndroidによる利用(2)	58 総合演習
	29 StorageのiOSによる利用	59 総合演習
	30 Hostingの利用(1)	60 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得点で言	平価
備考		

タイトル		内容
授業科目	卒業制作 I	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要		スケース図及びロバストネス図の作成について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	7.77 7.14 7.17 7.17 7.17 7.17 7.17 7.17
<u>達成目標</u>	企画立案をおこない、ユースケース図	とロバストネス図を完成させる
教科書	なし	CIP AT A A BELLIACE CO
教付官		エンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる身
実務家教員の紹介	的な教育をおこなう。	エンプーテとしての大切性級がり、開光末切て伯がともテ
	T	31 ユースケースモデルレビュー
		<u> </u>
	2 企画立案の留意点	32 ユースケースモデルレビュー
	3 業界研究	33 ユースケースモデルレビュー
	4 業界研究	34 ロバストネス分析の理論
	5 業界研究	35 ロバストネス分析の実践
	<u>6</u> 業界研究	36 ロバストネス分析
	7 企画立案	37 ロバストネス分析
	8 企画立案	38 ロバストネス分析
	9 企画立案	39 ロバストネス分析
	10 企画立案	40 ロバストネス分析
	11 企画立案	41 ロバストネス分析
	12 企画立案	42 ロバストネス分析
	13 企画立案	43 ロバストネス図レビュー
	14 企画立案	44 ロバストネス図レビュー
授業計画	15 企画立案	45 効果測定
1又未計 四	16 企画書レビュー	46
	17 企画書レビュー	47
	18 企画書レビュー	48
	19 ドメインモデリングの理論	49
	20 ドメインモデリングの実践	50
	21 ドメインモデリング分析	51
	22 ユースケースモデリングの理論	52
	23 ユースケースモデリングの実践	53
	24 ユースケースモデリング分析	54
	25 ユースケースモデリング分析	55
	26 ユースケースモデリング分析	56
	27 ユースケースモデリング分析	57
	28 ユースケースモデリング分析	58
	29 ユースケースモデリング分析	59
	30 ユースケースモデリング分析	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の	
備考		

タイトル		内容
授業科目	卒業制作 II	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	3年次	
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	90単位時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	システム開発におけるシーケンス図とク	ラス図及びテーブル設計書や画面レイアウトについて学。
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	
達成目標		·ブル設計書や画面レイアウトを完成させる
教科書	なし	
		ンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせる実践
実務家教員の紹介	的な教育をおこなう。	
	1 シーケンス図作成の理論	31 データベース設計の理論
	2 シーケンス図作成の実践	32 データベース設計の実践
	3 シーケンス図作成	33 テーブル設計書の作成
	4 シーケンス図作成	34 テーブル設計書の作成
	5 シーケンス図作成	35 テーブル設計書の作成
	6 シーケンス図作成	36 テーブル設計書の作成
	7 シーケンス図作成	37 画面レイアウト設計の理論
	8 シーケンス図作成	38 画面レイアウト設計の実践
	9 シーケンス図作成	39 画面レイアウトの作成
	10 シーケンス図作成	40 画面レイアウトの作成
	11 シーケンス図作成	41 画面レイアウトの作成
	12 シーケンス図作成	42 画面レイアウトの作成
	13 シーケンス図レビュー	43 画面レイアウトの作成
	14 シーケンス図レビュー	44 画面レイアウトの作成
	15 シーケンス図レビュー	45 効果測定
授業計画	16 クラス図作成の理論	46
	17 クラス図作成の実践	47
	18 クラス図作成	48
	10 ファス図作成 19 クラス図作成	49
	19 ラフへ図目成 20 クラス図作成	50
	20 クラス図作成 21 クラス図作成	51
	21 ラノへ図目成 22 クラス図作成	52
	23 クラス図作成	53
	24 クラス図作成	54
		55
	25 クラス図作成 26 クラス図作成	
	├	56
	27 クラス図作成 28 クラス図レビュー	58
	 	59
	29 クラス図レビュー 30 クラス図レビュー	
战结亚年 计	30 / / / ABVE 3 -	60
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の得	导点で評価
備考		

タイトル		内容
授業科目	卒業制作Ⅲ	
実務家教員授業	0	
学部・学科	情報IT3年制学科	
履修年次	3年次	_
開講学期	後期	
科目区分	必修	
授業方法	実習	
授業時間	150単位時間	
授業コマ数	75コマ	
授業概要	システム開発におけるテスト仕様書の	
授業の進め方	有識者の指導による講義と実習	- 「一
	· ·	
達成目標	テスト仕様書の完成及びシステムのメ	1 ノز版化を元成させる
教科書	なし	THE TANKS IN A SECOND PROPERTY OF THE TANKS AND THE TANKS AND THE TANKS AND THE TANKS AND THE TANKS AND THE TANKS AND THE
実務家教員の紹介		エンジニアとしての実務経験から、開発業務で活かせるタ
	的な教育をおこなう。	The last state.
	1 テストの理論 2 テスト仕様書の作成	41 テストの実施 42 テストの実施
	3 テスト仕様書の作成	42 アストの美施 43 テストの実施
	4 テスト仕様書の作成	44 テストの実施
	5 テスト仕様書の作成	45 テストの実施
	6 テスト仕様書の作成	46 プログラミング(改修)
	7 プログラミング(開発)	47 プログラミング (改修)
	8 プログラミング(開発)	48 プログラミング (改修)
	9 プログラミング(開発) 10 プログラミング(開発)	49 プログラミング(改修) 50 プログラミング(改修)
	11 プログラミング(開発)	51 プログラミング (改修)
	12 プログラミング(開発)	52 プログラミング (改修)
	13 プログラミング(開発)	53 プログラミング (改修)
	14 プログラミング(開発)	54 プログラミング(改修)
	15 プログラミング(開発)	55 プログラミング (改修)
	16 プログラミング(開発) 17 プログラミング(開発)	56 プログラミング(改修) 57 プログラミング(改修)
	18 プログラミング(開発)	58 プログラミング (改修)
	19 プログラミング(開発)	59 プログラミング (改修)
授業計画	20 プログラミング(開発)	60 プログラミング (改修)
仅未訂四	21 プログラミング(開発)	61 テストの実施
	22 プログラミング(開発)	62 テストの実施
	23 プログラミング(開発)	63 テストの実施
	24 プログラミング(開発) 25 プログラミング(開発)	64 テストの実施 65 テストの実施
	26 プログラミング(開発)	66 テストの実施
	27 プログラミング(開発)	67 テストの実施
	28 プログラミング(開発)	68 テストの実施
	29 プログラミング(開発)	69 テストの実施
	30 プログラミング(開発)	70 テストの実施 71 テストの実施 10 12 13 14 15 15 15 15 15 15 15
	31 テストの実施 32 テストの実施	71 テストの実施 72 テストの実施
	33 テストの実施	73 テストの実施
	34 テストの実施	74 テストの実施
	35 テストの実施	75 効果測定
	36 テストの実施	
	37 テストの実施	
	38 テストの実施 39 テストの実施	\vdash
	40 テストの実施	
成績評価方法		タルーニケ
(試験実施方法)	効果測定100% 効果測定(実習課題)の	侍点で評価

備考		